

重点目標

「よくきき よく考えよう」

ミッション

「対話と協働により、児童一人一人の可能性を引き出し伸ばす」

宿題はやったの？

ゲームに夢中になっている子供に対して、「宿題は終わったの？ まずは宿題しないさい！」などと、つい言っていないですか。子どもは、身近な大人である親をモデルにしながら、多くのことを学んでいます。子どもに宿題をさせなければ、親も勉強している姿をみせることで、子どもを動かすのは「勉強しなさい」「宿題しなさい」と指示する言葉ではなく、「一緒にやろう」という伴奏者としての言葉です。「やりなさい」の指示が多くなると、子どもが自ら行動するチャンスをうばってしまいます。ぜひ、「一緒にやろう」ということばがけをしてはどうでしょうか。

お疲れ様です

雨の朝、岡崎葬祭場の横断歩道で登校指導をしていると、「お疲れ様です」と私に声をかける子どもがいました。2年生の女子でした。今まで、このような子どもに出会ったことがありません。うれしかったことと感動したことが記憶に鮮明に残っています。こんな小さな子どもが状況や心情を察して、ねぎらいのことばをかけることができるのかと感動しました。



また、別な日の雨の朝、学校前の交差点で交通指導をしてくださっている保護者がいました。「雨の中、ありがとうございます。」と言うと、その方は「雨の日だからこそ来たんです。」とおっしゃいました。足どりが重く交通指導に向かっていた私でしたが、その一言で、心は軽く晴れやかな気持ちになりました。

ブロッコリー収穫

4月に学校の畑に植えたブロッコリーを6年生が収穫しました。武田ファームの武田様、地域の渡部様、相双農林事務所の皆様、JAの皆様、JAの皆様、畑をうなうことから収穫までご協力いただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。この体験を通して、総合的な学習の時間が食についての探究的な学習になるようにしていきたいと思います。

